

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成21年4月9日(2009.4.9)

【公開番号】特開2006-43346(P2006-43346A)

【公開日】平成18年2月16日(2006.2.16)

【年通号数】公開・登録公報2006-007

【出願番号】特願2004-232441(P2004-232441)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 1 2 Z

A 6 3 F 7/02 3 0 4 A

【手続補正書】

【提出日】平成21年2月20日(2009.2.20)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

遊技盤における遊技領域に配設された所定の入球手段に第 1 遊技球が入球したことに基
づいて、待機状態の第 2 遊技球を利用して演出する遊技機において、

前記遊技領域の前面側から視認困難な領域を備え、当該領域内で第 1 遊技球を第 2 遊技
球に摩り替えることを特徴とする遊技機。

【請求項 2】

遊技盤における遊技領域に配設された所定の入球手段に第 1 遊技球が入球したことに基
づいて、待機状態の第 2 遊技球を利用して演出する遊技機において、

前記入球手段に入球した第 1 遊技球を前記遊技領域の裏側に排出する排出流路と、

前記排出流路を通過した第 1 遊技球を前記遊技領域の前面側から視認困難とする隠蔽部
と、

前記排出流路を通過する第 1 遊技球を検出するセンサと、

前記センサが検出した第 1 遊技球が前記隠蔽部により視認困難とされたのち、前記セン
サによる検出に基づいて決定されたタイミングで、前記隠蔽部よりも下方に位置する領域
に第 2 遊技球を放出する第 2 遊技球出力手段と

を備えたことを特徴とする遊技機。

【請求項 3】

請求項 1 または 2 に記載の遊技機において、

前記第 2 遊技球出力手段に連通接続し、当該第 2 遊技球出力手段から出力された第 2 遊
技球を保留する保留手段と、

前記入球手段に前記第 1 遊技球が入球することに基づいて当否抽選を行う主制御手段と
、

前記主制御手段の当否抽選の結果に基づいて、前記保留手段によって保留された第 2 遊
技球の保留を解除して第 2 遊技球を払い出す保留解除手段と、

前記保留解除手段によって前記保留手段から払い出される第 2 遊技球の流下方向に配設
される入賞手段とを備え、

前記入賞手段に第 2 遊技球が入球することに応じて、遊技者にとって有利な遊技状態に移
行させることを特徴とする遊技機。

【請求項 4】

請求項 3 に記載の遊技機において、

前記保留手段と前記入賞手段との間に当該保留手段から払い出された第 2 遊技球を前記入賞手段の上方に転動誘導させる溝が形成された転動部と、

前記遊技盤面の幅方向に対して水平となる回転軸芯を有し、前記転動部の先端で当該軸芯周りに回転駆動するローラを備えた回転機構と、

前記回転機構に備わったローラ上を転動する前記第 2 遊技球を吸着保持する吸着保持手段と、

前記入球手段に第 1 遊技球が入球して第 2 遊技球の出力が確定された時点において、前記主制御手段によって行なわれた当否抽選で、当たりとなった場合に、前記保留手段から当該第 2 遊技球が払い出されるタイミングに応じて前記吸着保持手段のオン・オフ切換を操作し、第 2 遊技球を吸着保持して前記入賞手段側に当該第 2 遊技球を誘導するように前記吸着保持手段を制御する吸着保持制御手段と、

を備えことを特徴とする遊技機。

【請求項 5】

請求項 1 から 4 のいずれか一つに記載の遊技機において、

前記第 2 遊技球は、着色が施されたものである

ことを特徴とする遊技機。